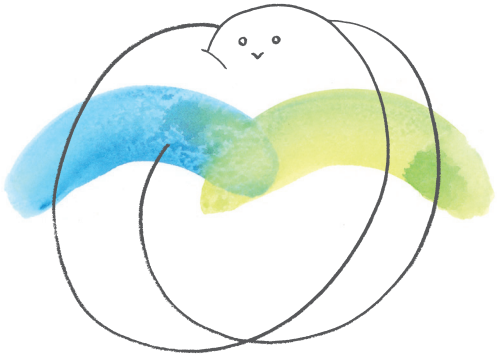


やまぜん こども園

幼保連携型認定こども園

in

やまぜんフィールド

社会福祉法人 山善福祉会

やまぜん こども園 in やまぜんフィールド

山善福祉会では、これまで展開してきた福祉事業の集大成として、茨木市内で8園目（法人としては12園目）の保育施設を開設します。自給自足のできるこども園を目標にしています。
このこども園を含めた 25,800 ㎡の広大な敷地で、動物を飼育し、農作物を育て、市内のこども園、保育園からもいちご狩りや芋掘りなどの農業体験に利用してもらい、広い森や丘陵で思い切り遊んでもらいます。また、マルシェではフィールド内や地域の農家さんや生産者の方々の食材を販売して、地域交流の拠点となり、地域に開かれた場所になることを目指します。

平場の園庭と温室について
平場で大規模なマルシェやイベントを開催できます。こども達は園庭から直接保育室にアクセスできます。大きな温室では、地域の農家さんと協力して様々な野菜･果物･植物の栽培に挑戦します。

マルシェゾーン
地域で作られたものを販売します。
販売する農作物はこども園で
買い取ることもできます。
雨天時は玄関をカフェスペースのようにも
利用できます。

駐車場・送迎バス乗り場
地域の施設と連携できる
ステーションとしての
機能を担います。

enマルシェ

enのりば

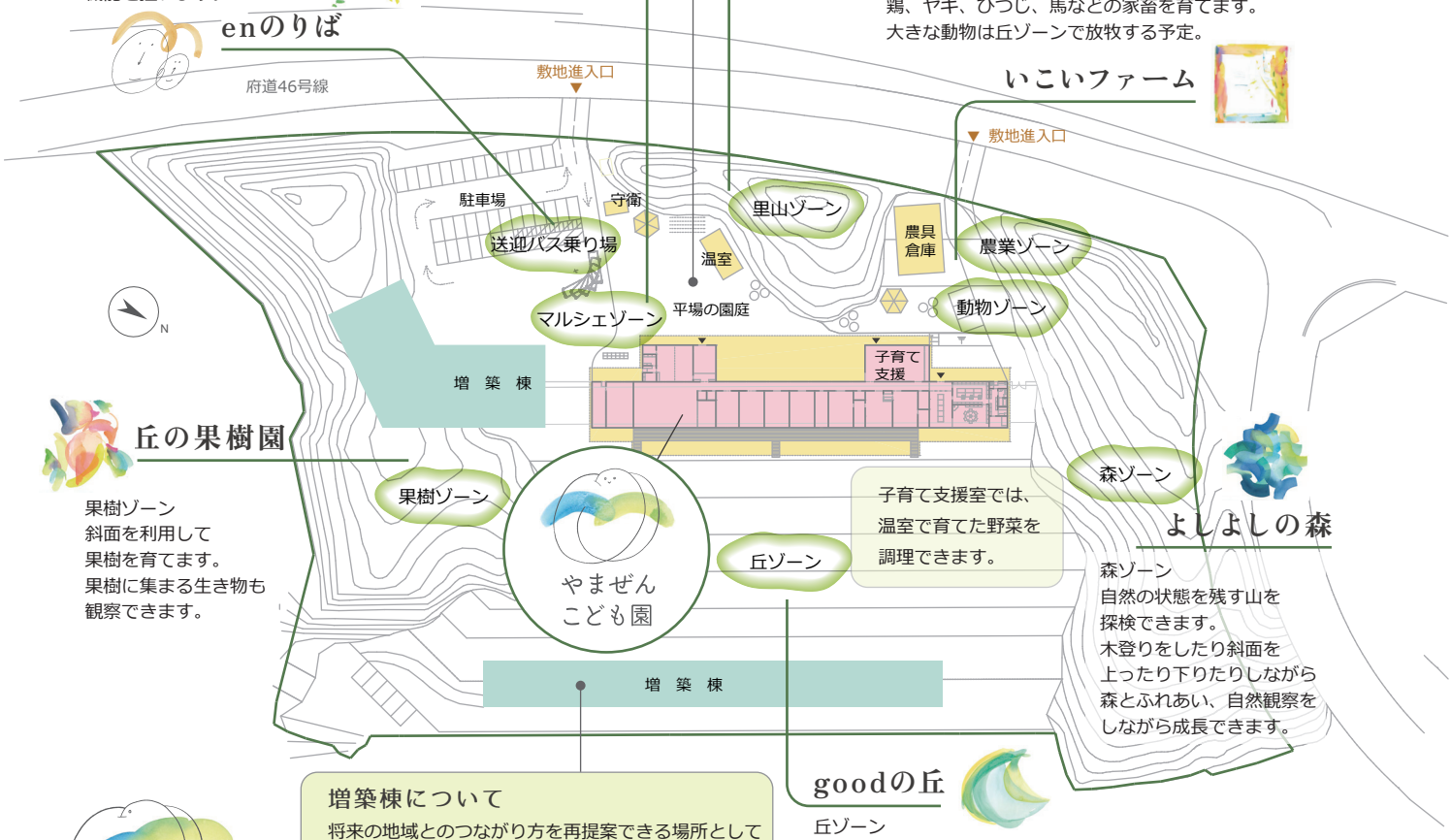
里山ゾーン
竹林（たけのこ）や段々畑を作り、
どろんこ池をつくったり
竹を使って遊びます。
平場の園庭と一体的に活動できます。

どろんこの里

農業ゾーン
農作業スペースを地域に開くことで、
集いの場や休憩スペースをつくります。
地域の農家さんと共に農作業を行う場所になります。

動物ゾーン
鶏、ヤギ、ひつじ、馬などの家畜を育てます。
大きな動物は丘ゾーンで放牧する予定。

いこいファーム



丘の果樹園

果樹ゾーン
斜面を利用して
果樹を育てます。
果樹に集まる生き物も
観察できます。

子育て支援室では、
温室で育てた野菜を
調理できます。

よしよしの森

森ゾーン
自然の状態を残す山を
探検できます。
木登りをしたり斜面を
上ったり下りたりしながら
森とふれあい、自然観察を
しながら成長できます。

goodの丘

丘ゾーン
斜面での活動は知らず知らずのうちに
こども達をたくましく成長させます。
また、丘は造成によって新しくできる地形であり、
丘の姿はこども達や共生する生き物によって
日々つくられていきます。

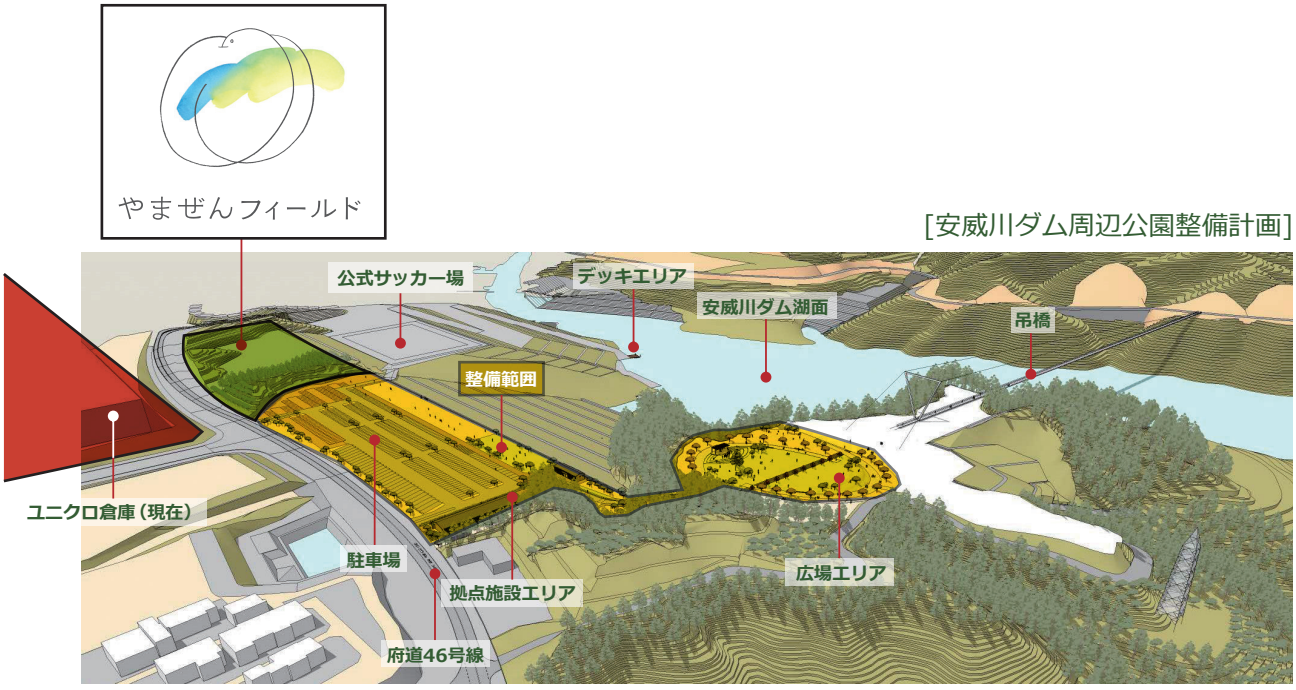
増築棟について
将来の地域とのつながり方を再提案できる場所として
増築スペースを設けます。
隣接敷地からも目視できるため、
互いに連動した活動の拠点にできます。

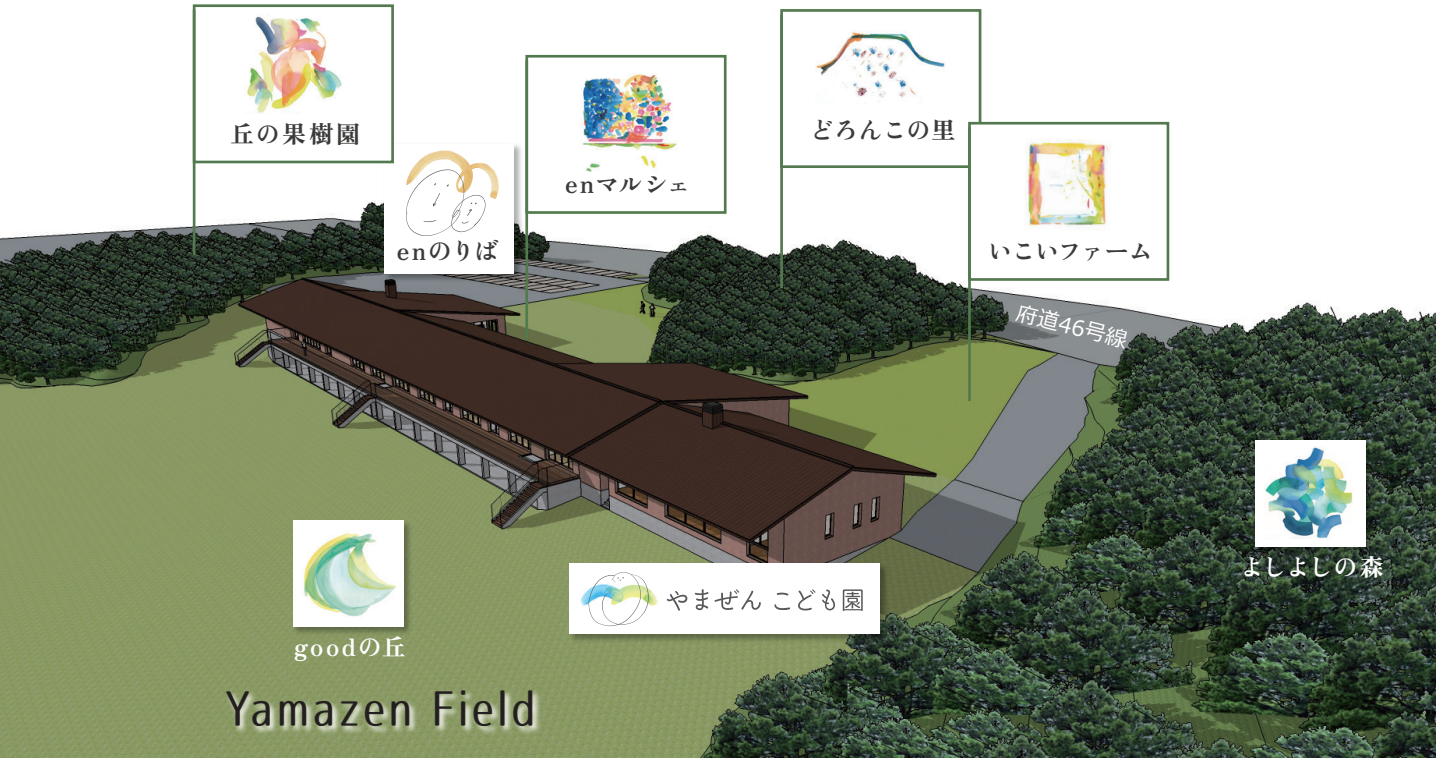
やまぜんフィールド

やまぜんフィールド & 安威川ダム周辺公園整備計画

また、この「やまぜんフィールド」は、現在大阪府が建設中の都市型治水ダム「安威川ダム」の周辺公園整備区域に隣接し、お互いにマルシェの活用や自然を生かしたアクティビティを通して、茨木市北部の活性化を目指しています。当法人の「Goodの丘」とダム湖の間には、茨木市初の公式サッカー場も建設予定されています。

これからこの安威川ダムを核に様々な計画が実現していく中で、「やまぜんフィールド」もいっしょになって茨木市北部の豊かで活気あふれる未来を作っていきたいと思います。

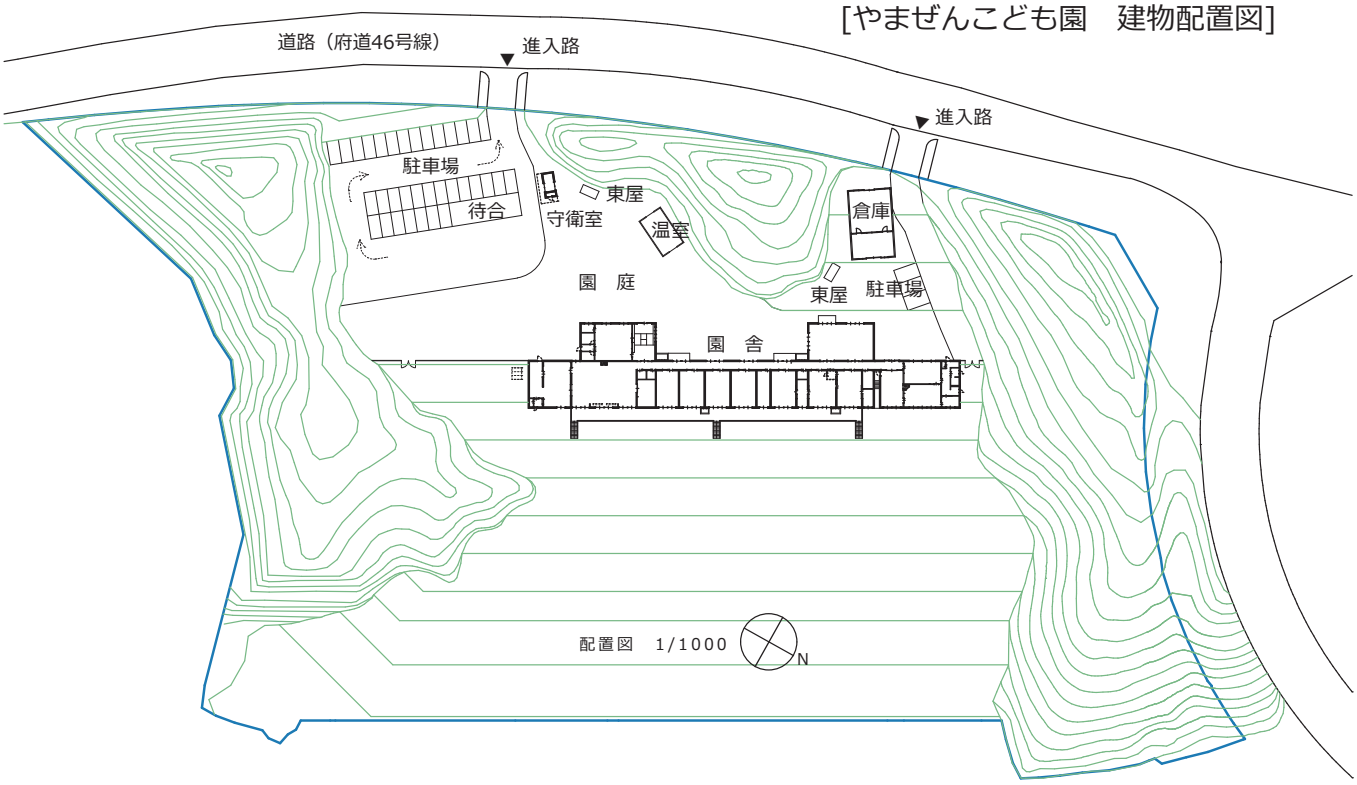




やまぜん こども園

概　要

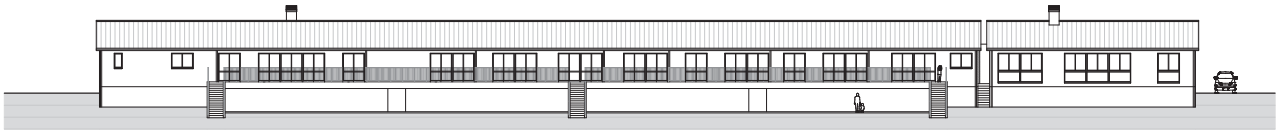
[やまぜんこども園　建物配置図]



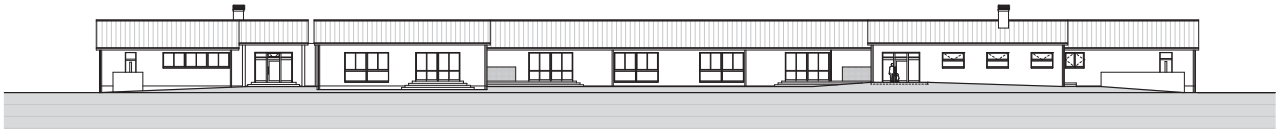
丘側から見る園舎

遊戯室1

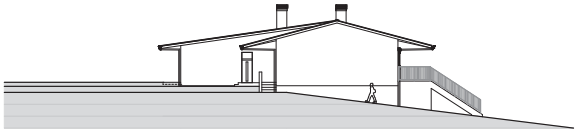
[やまぜんこども園　建物立面図]



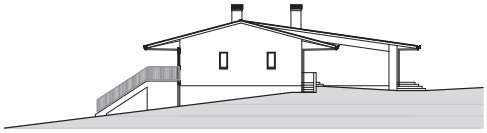
東立面図



西立面図



南立面図

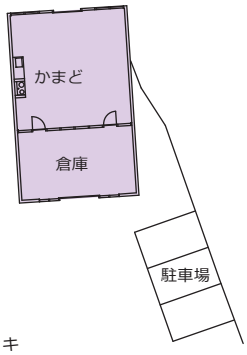


北立面図

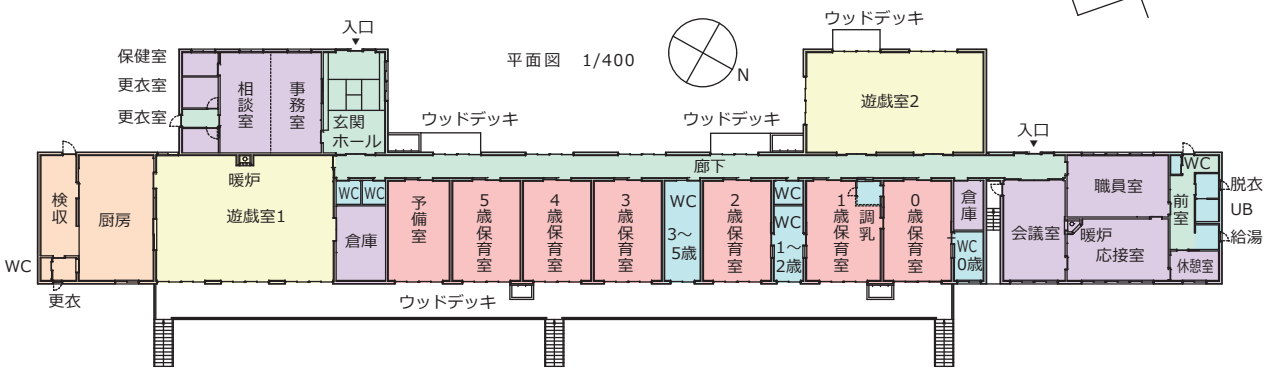
立面図　1/400

[やまぜんこども園　建物概要]

所　在　地	茨木市大字車作9-1他
用途地域	市街化調整区域
防火地域	指定なし(法第22条指定区域)
そ　の　他	
敷地面積	6,603.22㎡
建築面積	1,783.92㎡
延床面積	1,627.86㎡
建ぺい率	27.02%
階　　数	地下1階　地上1階
構　　造	鉄筋コンクリート造
設　　計	合同会社ＣＥＭプトラ建築設計
施　　工	松井建設株式会社　大阪支店
施工工程	2022年(令和4年)3月～2023年(令和5年)6月



[やまぜんこども園　建物平面図]



平面図　1/400

社会福祉法人 山善福祉会

― 教育・保育の目標 ―

「人の心と人の和」を大切にし、「大地に根差した生きる力を育む保育」を行います。

げんきいっぱい《健　康》
食べる・眠る・遊ぶ・・・
生活リズムを大切にし、健康や安全など
生活に必要な基本的生活習慣を
身に付け、心と体の健康を育てます

ともだちっていいな《人間関係》
友達と楽しく過ごし、自分も人も大切にする
心を育て、人と関わる力を養います

話してみたい、聞いてみたい《言　葉》
言葉への関心や興味を持ち、
言葉の豊かさを養い、伝え合う喜びや
思考力の基礎を培います

自分でできたよ《表　現》
さまざまな表現活動を体験し、
自分の思いや感じた事を
豊かに表現できる子どもを育てます

保護者とともに学び
喜び合える関係を《子育て支援》
家庭や地域の様々な社会資源との
連携を図りながら、
保育園の特性や職員の専門性を
生かし、子育て家庭を支援します

見つけてみよう、
やってみよう《環　境》
自然や社会の出来事に
興味や関心を持ち
五感（視覚，聴覚，味覚，
嗅覚，触覚）を育み
豊かな感性や感覚を育て
環境に関わる力を養います

法　人　理　念

・子どもが豊かに伸びていく可能性を最大に発揮できる、現在（いま）をもっともよく生きる保育環境で、
　生涯にわたる生きる力の基礎を培います。
・子ども、保育者、職員、地域の人々がともに喜び、ともに育つパートナー関係を構築するとともに
　社会的責任、公共の利益を追求し、地域子育て支援の拠点的役割を果たします。
・子どもの最善の利益と福祉の増進を考慮し、子どもの主体性や人権を尊重するとともに
　豊かな人間性が育つよう愛情と知識と技術をもって保育を行います。

教育・保育基本方針

1　子どもが安全で情緒の安定した生活ができ、自己を十分発揮できる環境を整え
　生活に必要な習慣、態度などを身に付け心身の健康の基礎を培います。
2　子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にし、様々な体験を通して物事に対する
　興味や関心を育て、自分で考え意欲的に行動し粘り強く関わる子どもを育成します。
3　人との関わりの中で愛情や信頼関係を育み、自分も人も大切にする心を育て
　自立と協調の態度を養うとともに、道徳性や社会性の芽生えを培います。
4　家庭と綿密に連携し子どもの状況や一人ひとりの発達過程を踏まえ
　育ちの上で望ましい経験を豊かにし、養護及び教育を一体的に行います。

社会福祉法人 山善福祉会

● 幼保連携型認定こども園 ●

やまぜん こども園

＊ 設　置　者 ：社会福祉法人 山善福祉会
＊ 開園時間 ：午前7:00 から午後7:00　(土曜日のみ午後 6:00 まで)
＊ 職員構成 ：園長、主幹保育教諭、保育教諭、栄養士、調理師、看護師、フィールド管理者

“自然と人がつながる場所で”

やまぜんフィールドの真ん中にある
「やまぜんこども園」は
水辺とつながる広い丘や森、小さな果樹園やファームがあり
人が耕す場所の中で大恩恵に触れ合いながら
光をあびて、あたえあう場所です。
発見や感動の中で
息吹、葉の揺らぎ、水辺の色彩、歌うように咲く姿、実りを愛で
感性豊かに、ひと時を積み重ねていく。
まっすぐに未来へと続く
無垢な眼差しを希望に輝かせて。

やまぜん こども園

クラス編成

0歳児

めばえ

1歳児

ふたば

2歳児

あおば

5歳児

だいち

3・4・5歳児 混合クラス

いずみ

つばさ

そよかぜ

こもれび
子育て支援室

ねっこ
遊戯室

＊各クラスの職員配置については国、市の基準に応じて配置をしております。
＊クラス編成については年度の園児数により変更いたします。

■ 休園日・開園時間

休園日	1号認定	春、夏、冬、学年末の休業期間があります。
	2・3号認定	日曜日・祝祭日・年末年始 (12/29 ～1/3)

開園時間	平　日／午前7:00 より 午後7:00 土曜日／午前7:00 より 午後6:00
1号認定	午前9:00 ～午後2:00　詳細は重要事項説明書に記載
保育短時間認定	午前9:00 ～午後 5:00　詳細は重要事項説明書に記載
保育標準時間認定	午前 7:00 ～午後 6:00　詳細は重要事項説明書に記載
時間外延長保育	午後 6:00 ～午後 7:00　※別途料金が発生します。

1日のながれ

0・1歳児 めばえ・ふたば	2歳児 あおば		3歳児以上 いずみ・つばさ・そよかぜ	
3号認定児			2号認定児	1号認定児
順　次　登　園（合同保育）		7:00	順次登園（合同保育）	
あそび（午前睡）	あ　そ　び	8:00	あ　そ　び	8:00～9:00 幼稚園型預かり保育
おやつ 又は 牛乳	牛　　乳	9:00	教育時間 （指導計画による活動） 及び あ　そ　び	順次登園
あ　そ　び	あ　そ　び	10:00		教育時間 （指導計画による活動） 及び あ　そ　び
食事（離乳食） ミ　ル　ク	食　　事	11:00		
午　　睡 （あ　そ　び）	午　　睡	12:00	食　　事	
		13:00	3･4歳児 午　睡	5歳児 あそび
		14:00		14:00　降園
おやつ（ミルク）	お　や　つ	15:00	お　や　つ	幼稚園型預かり保育 3･4歳児 午　睡 5歳児 あそび おやつ・あそび
あ　そ　び （午　睡）	あ　そ　び	16:00	あ　そ　び	17:00 預かり保育終了
順　次　降　園		17:00	順　次　降　園	
時間外延長保育		18:00	時間外延長保育	
		19:00		

0・1・2歳児
《安心して過ごす》 ～生活とあそび～

■ 育児担当制

0・1・2 歳児クラスは特に家庭的な雰囲気でゆったりと関わり、
生活とあそびを大切にしています。
目で見える形であらわれる運動発達とは違い、内面の発達はみえにくいものですが、
決まった保育者と食事・睡眠・排泄をしていく中で愛着関係が生まれます。
発達段階や心理状況等もよく把握して丁寧に接することが出来、
一人ひとりの発達に応じた保育をすすめることができます。

■ 食　　事

あそびや睡眠スペースとは別に、食事コーナーを設けることで、
“ここは食事をするところ” という子どもたちの感覚が育っていきます。
座る場所も固定することで自分の席が分かり、安心して食事がとれるようにしています。
スプーンやお箸の移行は決して焦らず、園と家庭とで連携を図りながら正しい持ち方で基礎を身につけます。

■ あ　そ　び

乳幼児期に五感をたくさん使うということは、とても大切です。
空気や水、土や植物など多くの自然に触れることで、遊びを通して五感が刺激されます。
そのような環境がやまぜんこども園にはあります。
様々な実体験を通してたくさんの気づきや発見があるからこそ、子どもたちの意欲が高まり
遊びも広がっていきます。遊びでは〈試し・驚き・発見・失敗・喜び・共感〉といったことを通して、
子どもたちは学びながら育っていきます。
たくさんの経験が子どもたちの力となるよう保育を進めています。

3・4・5歳児
《共に育ち、共に学ぶ》

■ 異年齢保育

- 子どもたちが 3・4・5 歳の年齢の枠を超えて共に学び合い、成長していきます。
- 社会性や協調性、思いやりの気持ちが育まれます。
- 年下の子どもは年上の子どもに憧れを持ち、興味や関心の幅が広がります。
- 年上の子どもは年下の子どもと関わることで、思いやりの気持ちを育み、お手本となることで自信を持つことができます。

みんなで作る大作！

おにいちゃん、おねえちゃんがお手本になります。

あそぶ時もみんないっしょに。

3・4・5 歳児《生きる力を育てる》

～やまぜんこども園の自然が、本能のスイッチをオンにする～

- 乳児期の育児担当制で生活の基盤を身につけることで
  幼児クラスではあそびに集中することができます。
- 子ども自身があそびを選択し、主体的にあそびを展開することで見通しをもって
  活動に取り組むことができます。
- 心と身体、全身を使って自然と共にあそぶことで、豊かな想像力、学びの意欲に
  つながります。五感が刺激され、生きていくために必要な要素を育てます。

■ 5歳児クラスのクラス活動

就学に向けて色々な体験をする中で、最後までやりとげる力や友達同士の繋がりを深めていきます。

～ たけのこ掘り ～

～ 田植え ～

～ クッキング ～

～ 雑巾がけ ～

～ 園外保育 ～

3・4・5歳児　リズム運動
《安定した心と身体を育む》

しっかりとした体幹、自分の思いどおりになめらかに動く手足を育みます。

- 身体のバランスをとる動き
- 身体を移動する動き
- 用具など操作する動き

やまぜん こども園の食育・菜園活動

乳幼児期の子どもにとって食生活は大切な生活の基本となります。
やまぜん こども園では、子どもたちが食事への関心を深め、楽しく美味しく食べる
生活習慣を身に付けられるように、食に関わる様々な取り組みを行います。

■ 食経験を豊かに育む献立

園で提供する食事は栄養価を考えた内容はもちろんのこと、旬の食材を活かし、調理方法の幅を広げながら、子どもたちが食への関心を高めるように献立を工夫しています。

■ こだわりのお米

咀嚼を促す玄米十割のごはん

お米は当法人が自給自足した安全なものを使用しています。園にある専用冷蔵庫で保管している玄米を、日々必要な分ずつ精米機で精米してお米の美味しさを保っています。また、子どもの咀嚼を促すため玄米十割のごはんを食べられるようになることを目標にしています。成長に合わせて段階を踏みながら、最初は白米から次は七分づき、五分づき、玄米十割に移行する食べ方を実践していきます。

■ こだわりのお茶

香り豊かなお茶

お茶葉も、山善ファームで収穫されたほうじ茶を中心に使用しています。季節に合わせて子どもの体にやさしい温度で香り豊かなお茶を提供します。子どもたちが園で飲むお茶は、子どもたちの手で茶葉をパック詰めしたものを使用します。

■ 食育活動 「食を営む力」を培う

やまぜん こども園では、菜園活動、たけのこ掘り、田植え、稲刈りなど様々な自然の営みを体験します。収穫・調理・食事・食事マナー・後片付けをするまで、食べる事の流れを丁寧に体験していくなかで、自分に必要なものを必要なだけ自分で食べられる力が培われ、将来の健康な生活の基礎をつくるための食を営む力が育ちます。

子どもたちは、こんな活動もしています。

菜園活動

育てる事から食べる事まで

野菜を育て収穫し自然の営みを肌で感じ、食べて味わう。食べる事を大切にする気持ちを育みます。

お野菜教室

お昼ご飯に提供される食材に触れる

「今日の食材」がわかるように野菜や乾物などを入れた野菜かごがあります。
友だちや先生といっしょに、食材を見て触れることから生まれる会話でも食への関心が高まります。
見て、触って、匂いを嗅いで…体感することで色々な発見が生まれます。

当番活動

お昼ごはんのお手伝い、お味見や炊飯

米を研いでご飯を炊いたり、玉葱の皮むきやピーマンの種とりをしたり、手や指先を使ってたくさんのお手伝いをします。また、お昼ごはんの１品を味見し、クラスのみんなに伝えます。感じる力、考える力、表現する力を育てていきます。

クッキング

料理ができる過程で感じる事を大切に

すり鉢でごまをする、昆布と煮干しでだしをとる、おせち料理を作るなど、いつものごはん作りから行事食まで様々なクッキングを体験します。その中で、香りや音、手触りや彩り、おいしい味を感じて「食べる」ことを楽しむ大切な時期を過ごします。
また、園庭にあるかまどに薪をくべ、ごはんや豚汁などを作る体験もします。

■ 広域マップ

■ 詳細マップ

幼保連携型認定こども園　やまぜん こども園

〒568-0083　茨木市大字車作9-1
Tel. 072-665-6601　Fax. 072-665-6604
yamazen@yamazen-fukushikai.or.jp
URL：https://www.yamazen-fukushikai.or.jp/